

1971 年 8 月 7 日 第三種郵便認可（毎月 6 回 1 の日・6 の日発行）
2024 年 2 月 11 日 発行 S S K A 通巻 第 11231 号

SSKA
全国パーキンソン病友の会 会報
岩手県支部だより
第 111 号



一般社団法人全国パーキンソン病友の会／岩手県支部

〒020-0132 岩手県盛岡市西青山 2-16-13

TEL 080-8086-2746

郵便振替番号 02260-8-52118

目 次

巻頭言 人間は一人では生きられない。	
支え合うのが人だ。 幹事 端坂則喜	2
パーキンソン病になって 菊池澄子	3
「家族チーム」 佐藤かづ子	4
リハビリ体験記：努力は必ず報われる。	
努力は苦しく一人では挫けることもある。	
挫けないように励ますのが「友の会」の役割である。佐藤さく子	5
近況報告	7
岩手パーキンソン病友の会 各地区活動報告	8
和み頁	14
支部事務局通信	15
パーキンソン病「友の会」入会申込書	16
編集後記	17
通信用	18

表紙の言葉

今回の表紙の花は、椿です。

令和2年3月に、地区行事で大船渡市の椿館に行った時に、この椿に付いていた名前と咲いた時の花の写真がとても良かったので、苗木で買って来ました。付いていた名前が『夢』…。

この椿を購入した日の10日前に姪の結婚式がありました。姪は小さい頃から「大きくなったら、舞妓さんになる」と言っていました。高校卒業して京都に行くと聞いて夢の舞妓さんになるのか?!と思いました。

今、姪は京都にいます。

何歳になっても『夢、抱いていたい』ですね。

表紙写真／佐藤かづ子

裏表紙・本文さしえ／佐藤さく子

人間は一人では生きられない。支え合うのが人だ。

幹事 はしざかのりき 端坂則喜

待ちに待った春到来です。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。

「全国パーキンソン病友の会岩手県支部」は会員の声を聞き、寄り添い、悩みや困りごとの対処方法を一緒に考えていけるよう、会員との信頼関係を作ることが大事と考えています。

これまで、交流会に参加できなかった会員さんにはお電話で現況や友の会への要望を聞かせて頂きました。移動距離、交流会の内容、交流会には参加できないが話を聞いて欲しい等の要望がありました。

参加しやすい環境を作るために県北地区、沿岸北部、盛岡地区、遠野地区、沿岸中部、県南地区、沿岸南部の7地区に分け、各地区のまとめ役を世話人さんをお願いしています。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に変更になり、以前のように各保健所や難病相談支援センター主催の交流会が増えていきます。

各保健所や難病相談支援センターなどの関係機関との連携を密に行い、それぞれが主催した交流会（難病相談支援センター主催奥州市交流会、難病相談支援センター主催大船渡交流会、久慈市保健所主催交流会、二戸市保健所主催交流会）に三役と私が分担し参加し、「全国パーキンソン病友の会岩手県支部」の活動内容を紹介してきました。

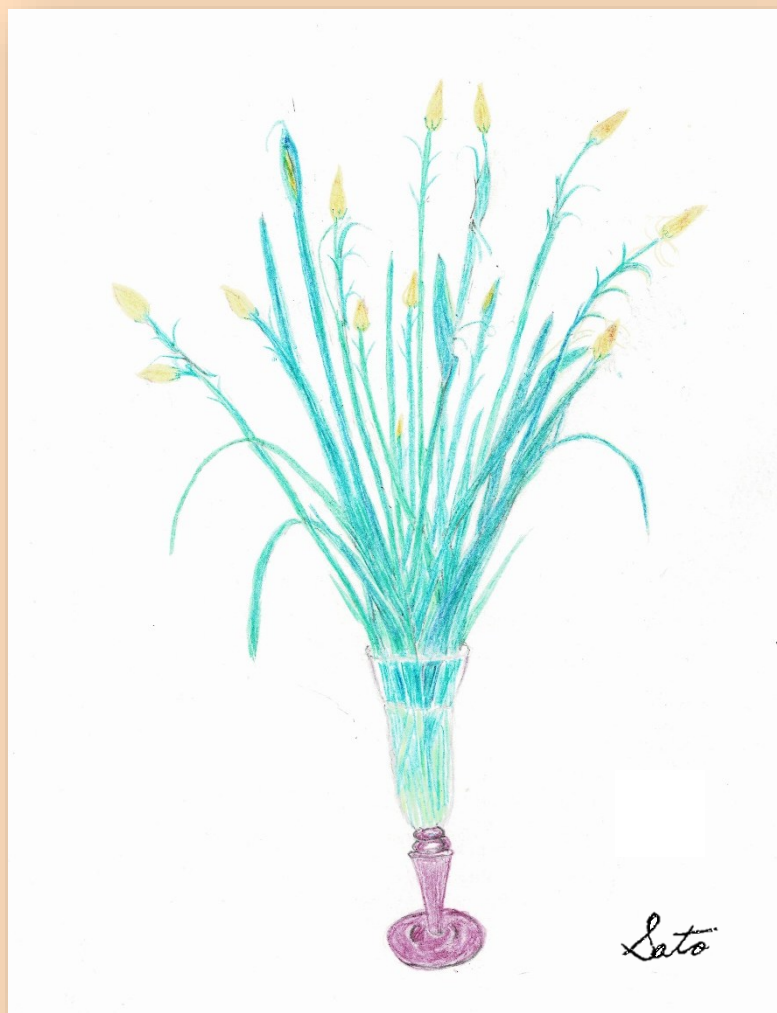
各交流会に参加するなかでパーキンソン病を正しく理解してもらう必要があると感じました。一関市広報や遠野市社協だよりに日程や内容を掲載した交流会に会員以外の患者さん、ご家族が参加したので私の経験をもとに勉強会を開催させていただきました。

質疑応答の中で感じたのは、「患者さんと患者さんを支えているご家族の方の悩みや困りごとが違う」ということです。

今後は患者さん、患者さんを支えているご家族の方が心身ともに健康で幸せになれるように支援ができるようにしていきたいと考えています。



チューリップの花言葉：思いやり



編集人 一般社団法人全国パーキンソン病友の会／岩手県支部
〒020-0132 岩手県盛岡市西青山 2-16-13
TEL 080-8086-2746 FAX 019-641-6220
振替番号 02260-8-52118

発行人 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷 102
TEL 03-6277-9611

頒価 400 円